

194 手形の性質として、正しくないのはどれか。

- a) 手形上の権利内容は手形上に記載された文言のほか、取引相手との契約により決定される。
- b) 正当な手形権利者であっても、手形を呈示しなければ、適法な権利行使にならない。
- c) 手形上の権利は手形振出の原因となった法律関係の有効・無効に影響されない。
- d) 手形法が定める必要記載事項の記載が1つでも欠けた手形は無効である。